



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和3年10月発行
第50号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター

〒132-0031 江戸川区松島1-38-1

電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア

中学生のボランティアが活躍！ ジュニア訪問員がオンラインで笑顔と元気をお届け！

3 すべての人に
健康と福祉を

江戸川区では、平成27年から「ジュニア訪問員」(中学生ボランティア)がご近所の熟年者を訪問し、お話しすることで世代間の交流を図り、熟年者と中学生がお互いを見守り、見守られる関係を築いています。

これにより、地域でお互いが住みやすい共生社会の実現を目指しています。

今年度は中学校7校、18人の生徒がジュニア訪問員として活動しています。

コロナ禍でもあり、実施校全校で訪問ではなくオンラインでの交流が試行されています。

区立小・中学校の児童・生徒は、一人一台のタブレット端末が貸与されていますので、オンラインでの交流が可能になりました。

令和3年度ジュニア訪問員実施校

- 松江第四中学校(2人)
- 松江第五中学校(2人)
- 二之江中学校(3人)
- 清新第一中学校(3人)
- 篠崎中学校(3人)
- 小岩第三中学校(2人)
- 小岩第五中学校(3人)



夏休み中の8月18日に、松江第四中学校にお伺いし、その様子を取材しました。

2人のジュニア訪問員(2年生の奥田さんと河村さん)が、地元の一之江上親交長寿会長の藤原さんとオンラインで40分ほど交流しました。

2人は、「オンラインがうまくできるか不安でしたが、藤原さんの子どものころの遊びが聞けて楽しかった。」「初めてでしたが、うまくいきました。藤原さんが、趣味のお芝居について教えてくださいました。」と、楽しそうに話してくれました。

みなさんもコロナ禍では直接対面でなく、オンラインを活用したボランティア活動に挑戦してみてはいかがでしょうか。



奥田さん



河村さん



会話の様子

秋から始まる新ボランティア講座

講座名	手話ボランティア養成講座
日時	11月4・11・18日(木)14:00~15:30
会場	グリーンパレス集会室305
対象	区内在住・在勤・在学で、手話のボランティアとして活動できる18歳以上の方
定員	10人
募集	10月4日(月)9:00から電話でボランティアセンターに申込(先着順に受付)

昨年までの手話入門講座から、聴覚障がい者の方の理解を目的としたボランティアを養成するための講座にリニューアルします。

受講後は手話のボランティア活動に参加していただきます。

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター

☎ 03(5662)7671

手話体験講座が開かれました～地域個人登録の会～

「拍手」の手話をみんなで練習

松江第四中学校保健委員会



7月15日、松江第四中学校の保健委員会(1～3年生、教員を含む35名)で、聴覚障がい者理解と手話体験の出前講座が開催されました。

担当したのは「地域個人登録の会」(聴覚障がい者と交流するボランティア団体 代表:大森さん)です。会員で聴覚障がい者の安田さんから手話で、耳が聞こえないことで困ることや、手話以外の筆談・口話などでもコミュニケーションがとれることの話があり、通訳のボランティアさんから受講者に伝えられました。

その後、手話であいさつ、拍手、校名の「松江第四中学校」を練習しました。

生徒たちから、「耳が聞こえない方がどのように生活しているのかわかりました。」「手話以外にも、

いろいろ伝える方法があることを知りました。」「機会があったら、手話を使ってみたいです。』との感想が寄せられました。

ボランティアによる 夏休み親子手話教室

8月4日、臨海町コミュニティ会館で開催された親子手話教室に、4組の親子10名が参加しました。マンガ「聲の形(こえのかたち)」を読んで手話に興味をもった清新ふたば小学校のお子さんのよびかけで開催されました。

地域個人登録の会の会員で聴覚障がい者の久住 呂(くじゅうろ)さんが、参加者全員の氏名やあいさつなどを手話で教えてくれました。

親子で参加できたので、家に帰ってから手話で復習できますね!



←
「8月4日」の
手話を練習

左手が8、
右手が4を
表しています

SDGsについて理解を深めました

～江戸川区福祉ボランティア団体協議会～

江戸川区は令和3年度の「SDGs未来都市」に全国から選ばれました。福祉ボランティア団体協議会ではSDGsの理解を深めるため、4月に開設されたSDGs推進センターに講演を依頼しました。

7月27日、参加した会員に対して「SDGsとは?」に始まり、「なぜ江戸川区がSDGsを推進するのか」を、分かりやすく講演していただきました。

自分のボランティア活動が、SDGsの17のどのゴールにあたるのかを意識し、身近なところから取り組んでいくことを学びました。

参加したみなさんは、自分たちのボランティア活動がSDGsとどう結びつくかを再認識しました。



SDGs17のアイコンを説明していただきました

2021えどがわ ボランティアフェスティバル 中止のお知らせ

12月5日(日)にタワーホール船堀で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただくことになりました。

開催を楽しみにされていた方や、フェスティバルへの参加を検討されていた方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

・ このページのお問い合わせ先 ・

(公財)えどがわボランティアセンター
Tel 03-5662-7671

ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設、団体の方は、
ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

養護老人ホーム江東園・ 特別養護老人ホームリバーサイドグリーン

内 容 … 洗濯、リネン交換、掃除、話し相手、
傾聴、食事の配膳・下膳などのお手伝い
や編み物など、得意な分野を活かした
ボランティア活動

日 時 … 随時
(ご相談ください。短い時間でも歓迎)

場 所 … 江戸川区江戸川1-11-3
都営新宿線「瑞江駅」下車 徒歩15分

交通費・食事 … 支給なし

連絡先 … 03-3677-4611

担 当 … 小野

子ども未来館アカデミー ボランティア(一般・学生)募集

内 容 … プログラム中の子どもの見守り、助言や
手助け、講師の補助等

日 時 … 主に土曜日、日曜日、祝日、夏休み等の
長期休業期間や平日(主に水曜日)の午後
になります。

場 所 … 江戸川区篠崎町3-12-10
都営新宿線「篠崎駅」下車 徒歩15分

資 格 … 18歳以上(高校生を除く)

※年数回の連絡協議会にご参加頂きます。

交通費・食事 … 支給なし

連絡先 … 03-5243-4011 担 当 … ボランティア担当

コロナに負けず!夏ボラに70名の方々が参加!

夏休みを利用して、小学生から社会人まで幅広い世代の方々に、ボランティアを体験していただく「夏のボランティア体験」(通称「夏ボラ」)。今年もコロナ禍のため、新型コロナウイルス対策をして、図書館・ボランティアセンター・自宅に限定して実施したところ、70名の方々が参加しました。

自宅での折り紙ボランティアは、今年度初めての試みでした。参加者から200点を超えるカエルの折り紙(無事カエル)が寄贈されました。ボランティアセンターの前に置くと、毎日、子どもたちがうれしそうに持って帰ります。

参加された皆さんは、ボランティアを人とのつながりへの一歩として認識を深めることとなりました。受入れにご協力いただいた各図書館の皆様に改めて感謝いたします。



ボランティアが作成したカエルの折り紙(無事カエル)をもらったお子さん



図書館業務を体験する小学生



切手整理ボランティア



7月～8月

ボランティアの振興に有効に使わせて頂きます。

使用済み切手

受領：45件/12.5kg

ボランティア団体登録数

登録団体数：182団体／登録人数：4,713人
(令和3年8月現在)



●第5回● ボランティアを受け入れる力を高める

江戸川区災害ボランティアセンターは、区が大地震などで被災し、災害ボランティアの支援が必要になったときに、区内外から駆けつけた災害ボランティアを、支援が必要な区民のもとに派遣します。

その際、被災者のために活動する災害ボランティアの力を地域の復興につなげるには、災害ボランティアを受け入れる力を高めることが大切になります。

災害ボランティアの力を生かすためには？

- ・どんなことを手伝ってくれるのかしら？
- ・見知らぬ人に頼んでいいかしら？

↓
日ごろから災害ボランティアの活動について、聞いたり調べたりして理解を深める

- ・ご近所で、災害ボランティアの力が必要な高齢者や、支援が必要な人にも派遣してくれるかしら？

↓
日ごろから地域の状況を把握し、災害時に支援が必要な被災者の状況を、災害ボランティアセンターに知らせる

- ・区外から来てくれるボランティアは、ここまでの道順や周囲の状況がわかるかしら？

↓
日ごろから地域の危険箇所などを記した防災マップを用意したり、災害時には地域に詳しい方が案内する

→ 平常時から防災力向上のための「個人の準備・地域の準備」が、災害時には力になります！

防災力を高めるのは平常時からの準備

個人の防災力向上のための準備

- ・家具などの転倒防止や水・食糧などの備蓄
- ・災害時の連絡方法の確認
- ・防災講座や防災訓練への参加

地域の防災力向上のための準備 ～コミュニケーションが大切～

- ・日ごろのあいさつで近隣の人と顔見知りになる
- ・地域で活動する人や組織、ボランティア団体と顔見知りになる
- ・行事や防災訓練などで、地域の状況や災害への備えを話し合ったり、防災マップを作ったりする

～注意が必要です～
〈災害時には、こんなニセボランティアも〉

窃盗行為、粗暴行為、観光気分、
弱った心につけこむ人

ご存じですか？このマーク

AED(自動体外式除細動器:急な心臓の異常で倒れた人を助けるための装置)を示すマークです。命にかかわる緊急事態のときに助けとなります。

AED自身が音声で操作方法をガイドしてくれるので、だれでも簡単に使用することができます。

区の施設など、日ごろからどこに置いてあるかを知り、いざというときに役立てましょう。区の施設については、区ホームページの「えどがわマップ」で、一目で確認できます。

AEDマーク



JIS



日本救急医療財団